

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## コスモエネルギーホールディングス株式会社（証券コード:5021）

### 【変更】

長期発行体格付	BBB+	→	A-
格付の見通し	安定的		
劣後ローン格付	BBB-	→	BBB
発行登録債予備格付	BBB+	→	A-
国内CP格付	J-2	→	J-1

### ■格付事由

- コスモエネルギーグループの純粋持株会社。石油精製販売を中心に、原油開発や石油化学製品の製造を手掛ける。また、脱炭素の動きが加速する中、風力発電を主体とする再生可能エネルギー事業の拡大に注力している。当社はグループ全体の事業ポートフォリオの最適化や各事業会社の業務執行のサポートなどを担っており、経営の一体性が強いことから、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- 業績は好調である。国内の石油製品のマージンが安定していることに加え、製油所が同業他社比高い稼働率を維持しており、利益を押し上げている。原油価格の上昇に伴い、石油開発事業の利益も増加している。また、在庫影響によるプラス効果もあって最終利益が積み上がり、自己資本が大幅に増加した。大型投資の一巡によって有利子負債も減少しており、課題であった財務体質の改善が急速に進んでいる。以上を踏まえ、1ノッチ格上げし、見通しを安定的とした。
- 23/3期経常利益（在庫影響除き）は1,500億円（前期比6.7%減）が予想されている。過去最高益となった22/3期と比べて減益になるものの、引き続き高水準の利益となる見込みである。原油価格上昇に伴う石油事業の精製用燃料費増加などが減益要因となるが、石油開発事業の増益が一定程度カバーする見通しである。24/3期以降も原油価格や為替の変動による影響を受けるものの、在庫影響を除く業績は底堅く推移すると考えられる。
- 22/3期末自己資本比率（劣後ローンの資本性評価後）24.3%、DER（同左）1.4倍と21/3期末の19.9%、2.0倍から大幅に改善した。運転資金の増加によって有利子負債の減少ペースは鈍化すると見られるが、利益の蓄積に伴う自己資本の増加により、23/3期以降も財務構成の改善が進む見込みである。

（担当）千種 裕之・水川 雅義

### ■格付対象

発行体：コスモエネルギーホールディングス株式会社

### 【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	借入額	実行日	弁済期日	利率	格付
劣後ローン	300億円	2020年3月31日	2053年3月31日	（注）	BBB

（注）3ヶ月日本円TIBORにスプレッドを加算した利率

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,000億円	2021年7月3日から2年間	A-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	2,000億円	J-1

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年12月19日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「石油」(2020年5月29日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」(2003年7月1日)、「ハイブリッド証券の格付について」(2012年9月10日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) コスモエネルギーホールディングス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
なお、本件劣後ローンにつき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル